

<p><研究課題名></p>	<p>D-1008</p>	<p>生物多様性情報学を用いた生物多様性の動態評価手法および環境指標の開発・評価</p>
----------------------	---------------	--

<p><研究概要></p> <p>現在、科学的根拠に基づいた生物多様性の質的・量的変化の推定と予測が強く求められている。そのためには、基礎的情報のモニタリングと生物多様性動態評価手法の確立が不可欠である。このような要求に応えるため、本研究では既存の生物多様性情報の集積と統合データベース化、およびその情報に基づく動態評価手法の開発を目的としている。本研究では生物多様性情報の集積を行うとともに異なるスケール・方法で得られた生物多様性情報を統合・情報間の関係を解析してモデル化し、広範囲に渡る確度高い生物多様性評価が可能になるような手法を確立することが目標となる。そのため、以下のようなサブテーマを実施し、最終的に科学的根拠を持った生物多様性の評価・推定結果を出す。</p> <p>(1) 生物多様性情報総合基盤システムの作成と分布推定 日本ではこれまでに研究機関や行政によりさまざまな生物多様性関連データが取得されて存在しているが、これらを統合して解析するシステムがない。このような状況を打開するため「生物多様性情報総合基盤システム」を開発、省庁・機関・研究者が保有している生物多様性データを統合し、研究や施策に使用可能にする。さらにサブテーマ2～5で入力された情報を基にして各生物種の分布確率を計算する。</p> <p>(2) 森林生態系の生物多様性情報の集積・各生態系の生物多様性環境指標作成・評価 森林生態系において、関連機関や研究者から生物多様性情報の提供を求め、国際標準に合わせてスキーマ変換を行った後に生物多様性情報総合基盤システムへの入力を行う。また、基盤システムに入力された他の情報も共に利用して実際に森林生態系において生物多様性に関する総合評価を行い、その結果から環境指標を作成する。</p> <p>(3) 農業生態系の生物多様性情報の集積・各生態系の生物多様性環境指標作成・評価 農業生態系において、関連機関や研究者から生物多様性情報の提供を求め、国際標準に合わせてスキーマ変換を行った後に生物多様性情報総合基盤システムへの入力を行う。また、基盤システムに入力された他の情報も共に利用して実際に農業生態系において生物多様性に関する総合評価を行い、その結果から環境指標を作成する。</p> <p>(4) 陸水生態系の生物多様性情報の集積・各生態系の生物多様性環境指標作成・評価 陸水生態系において、関連機関や研究者から生物多様性情報の提供を求め、国際標準に合わせてスキーマ変換を行った後に生物多様性情報総合基盤システムへの入力を行う。また、基盤システムに入力された他の情報も共に利用して実際に陸水生態系において生物多様性に関する総合評価を行い、その結果から環境指標を作成する。</p> <p>(5) リモートセンシング情報の集積と複合環境の指標作成・評価 衛星画像より土地利用情報を抽出するとともに、植生は可能な限り識別可能な生態系区分を行う。各地点の経年変化を生物多様性情報総合基盤システムに集積して他のサブテーマの解析に使用可能にする。</p> <p>(6) 生物多様性予測モデルの作成・解析 種別の個体数・分布減少を予測する確率論的モデルの開発、分類群ごとの生物多様性の劣化を分析し、環境省の生物多様性総合評価（Japan Biodiversity Outlook）ならびに国連大学高等研が進めるミレニアム生態系評価里山里海サブグローバル評価のNational Reportに反映させる。</p>
--

<p><研究代表者></p>	<p>伊藤 元己</p>	<p>東京大学・大学院総合文化研究科・教授（54才）</p>
----------------------	--------------	--------------------------------

No.	サブテーマ名		氏名	所属機関名・部局・役職名
(1)	生物多様性情報総合基盤システムの作成と分布推定	◎	伊藤元己	東京大学・大学院総合文化研究科・教授
(2)	森林生態系の生物多様性情報の集積・各生態系の生物多様性環境指標作成・評価	○	岡部貴美子	独立行政法人森林総合研究所・森林昆虫研究領域・チーム長
(3)	農業生態系の生物多様性情報の集積と生物多様性環境指標作成・評価	○	山本勝利	独立行政法人農業環境技術研究所・生物多様性研究領域・主任研究員
			田中幸一	独立行政法人農業環境技術研究所・生物多様性研究領域・上席研究員
			楠本良延	独立行政法人農業環境技術研究所・生物多様性研究領域・主任研究員
			岩崎亘典	独立行政法人農業環境技術研究所・生態系計測研究領域・主任研究員
(4)	陸水生態系の生物多様性情報の集積と生物多様性環境指標作成・評価	○	島谷幸宏	九州大学・大学院工学研究院・教授
			矢原徹一	九州大学・大学院理学研究院・教授
(5)	リモートセンシング情報の集積と複合環境の指標作成・評価	○	高村典子	国立環境研究所・環境リスク研究センター室長
			竹中明夫	国立環境研究所・生物圏環境研究領域・領域長
			小熊宏之	国立環境研究所・地球環境研究センター主任研究員
(6)	生物多様性予測モデルの作成・解析	○	松田裕之	横浜国立大学・環境情報研究院・教授
			小池文人	横浜国立大学・環境情報研究院・教授